



新宿山吹だよりは、保護者の皆さんにも読んでもらって下さい。

教養をつける 2

校長 永浜 裕之

私は様々な機会を捉え、生徒の皆さんに対して「教養をつけよう」と呼びかけています。入学式をはじめ、2年前の始業式、昨年前期終業集会、今年の始業式でも同趣旨の話をしました。

教養を身に付けることができれば、長い人生を生きていく上での基盤となり、世の中の動きにぶれることなく自分の考えに基づいて行動できるようになると考えています。逆に教養が乏しいと、考える内容や物事の結論が大きく変わってきます。

2003年、大量破壊兵器を隠しているとの疑惑で「フセイン政権下のイラクへ武力攻撃をする・しない」を巡り、フランスとアメリカの意見が対立しました。その時、フランスの外相ド・ピルパンが意見を述べていましたが、ロジックの構築が素晴らしく、言葉の使い方が巧みなのに驚き、人となり調べると学生時代にアルチュール・ランボーをテーマに博士論文を書いていました。ナポレオンの研究者でもあり長大な伝記も書いていました。ド・ピルパンは後にフランスの首相になりました。私が「すごい」と思うグローバルリーダーは、ビジネスや経済はもとより文学、美術、音楽、建築、歴史などにも深い造詣を持っています。経済学者のピケティが文学にも並々ならぬ造詣をもつことは有名です。

さて、日本の現状を打破するには多くの日本人が教養を高める必要があると考えます。近代以降、ヨーロッパのエリート養成を担ってきた教育機関では、長らく「哲学」と「歴史」が必修とされてきました。

たとえば、フランスの高等学校課程＝リセでは、理系・文系を問わず哲学が必修科目となっています。また、バカロレアの第1日目の最初に実施されるのは、伝統的に哲学の試験とされています。パリに住んでいれば、バカロレアの哲学試験にどんな問題が出されたか、自分ならどう答えるかが、オフィスやカフェ、家庭で話題になっていることに気がきます。

エリート経営者の教育機関として名高い「アスペン研究所」では、風光明媚なアメリカ、アスペンの山麓で、プラトン、マキャベリ、ホッブズ、ロック、ルソー、マルクスといった哲学や社会学の古典をみっちりと学んでいます。

1949年の国際カンファレンス「ゲーテ生誕200年祭」で、シカゴ大教授のロバート・ハッチンスは「無教養な専門家こそ、我々の文明にとって最大の脅威」、「専門家というものは、専門的能力が高いからといって、無教養であったり、諸処の事柄に無知であったりしてはならない」と述べています。哲学を学ばずに社会的な立場だけを得た人、そのような人は「文明にとっての脅威」、つまり「危険な存在」になってしまうと指摘しています。

さて先日、都立両国高校から「創立120周年記念誌」が送られてきました。旧制府立3中として設立された同校の記念誌には教養を感じさせる記述を見つけることができ、自分の高校時代を思い出しました。いくつか紹介します。

- 同級生には文学・音楽・映画を同時に語るような超高校生級の鬼才・秀才が多く、僕は自分の教養のなさを痛感する日々だった。
- 休み時間にラグビーボールを磨きながら（唾で、こするのだ）、文庫本を開いているクラスメイト。文庫本と言えば、バロウズのスペースオペラSFくらいしか読んでいなかった僕が「何読んでいるの？」と声をかけると、「ん？ 立原道造」「タチハラミチゾウって誰？」「バーカ。俺らの先輩だよ」。両国といえば「芥川龍之介」しか知らなかったが、詩人の先輩もいるのか。それは押さえておかねばと、錦糸町ビル「テルミナ」の書店に寄る。
- 実力テスト、「現代文」の問題文がなんとも切なくロマンティック。試験中にもかかわらず、しばし妄想の世界に漂い、問いに取り掛かるのを忘れるほどだった。終わると早速、教室では例の問題文のことで盛り上がる。「いいな、あれ」、「作者は誰だ」、「出典は？」などを話していると、一人のクラスメイトから「多分あれは「掌の小説」。「タナゴコロ、何それ？」、「川端康成だよ」。聞けば短い小説がたくさん収録されているのだという。「星新一みたいなの？」と聞くと、「ショートショートとは違うよ」と苦笑いする彼の机の上には、文庫本、庄司薫の「赤ずきんちゃん気をつけて」が載っていた。

「若さの一つの困惑なのだ」。そんな言葉を三島由紀夫がその小説に寄せていたのを知るのは少し後だ。その日の帰り、錦糸町の書店で、「掌の小説」を購入したのは言うまでもない。少し集めの文庫本に収められた短編は、確かにショートショートとは違った。

Blowin' in the Wind (邦題：風に吹かれて)

2月24日にロシアがウクライナに侵攻して以来、このことに関する報道が途切れることはありません。1963年に発表された「Bob Dylan」(ボブ・ディラン)の「Blowin' in the Wind」は、戦争の悲惨さを示すとともに、人間の愚かさも感じさせる曲です。

Blowin' in the Wind	Words & Music by Bob Dylan
How many roads must a man walk down Before you call him a man?	人は、どれだけの道を歩めば、一人前と認められるのだろうか？
Yes, and how many seas must a white dove sail Before she sleeps in the sand?	白い鳩は、いくつの海を渡れば、砂浜で眠ることができるのだろうか？
Yes, and how many times must the cannonballs fly Before they're forever banned?	どれだけの砲弾を飛ばし合えば、打つことをやめることができるのだろうか？
The answer, my friend, is blowing in the wind The answer is blowing in the wind	友よ、「答え」は風に吹かれている 「答え」は風に吹かれている
How many years can a mountain exist Before it is washed to the sea?	山が海に流されてなくなってしまうのに、どの位の時間がかかるのだろうか？
Yes, and how many years can some people exist Before they're allowed to be free?	為政者たちは、いつになったら人々に自由を与えるのだろうか？
Yes, and how many times can a man turn his head And pretend that he just doesn't see?	人はいったい何回、顔を背け、見ていないふりを続けられるのだろうか？
The answer, my friend, is blowin' in the wind The answer is blowin' in the wind	友よ、「答え」は風に吹かれている 「答え」は風に吹かれている
How many times must a man look up Before he really see the sky?	人は何回見上げたら 本当の空を見ることができるのだろうか？
Yes, and how many ears must one man have Before he can hear people cry?	人はいくつの耳をつければ 人々の泣き声が聞こえるようになるのだろうか？
Yes, and how many deaths will it take 'til he knows That too many people have died?	人はどれだけの死人を見れば、これは死に過ぎだと気付くのだろうか？
The answer, my friend, is blowin' in the wind The answer is blowin' in the wind	友よ、「答え」は風に吹かれている 「答え」は風に吹かれている

定時制課程 学校行事予定

5月6日(金) セーフティ教室
 17日(火) 自己探索学習①
 30日(月) 中間考査時間割発表
 6月6日(月)～10日(金) 前期中間考査
 13日(月) 教育実習(始)
 体力テスト(始)
 避難訓練
 16日(木) 自己探索学習②
 17日(金) 体力テスト(終)
 24日(金) 上級学校授業体験
 「人間と社会」演習

通信制課程 学校行事予定

5月7日(土) スクーリング1-1
 全体集会
 避難訓練/セーフティ教室
 14日(土) スクーリング1-2
 21日(土) スクーリング1-3
 健康診断
 28日(土) スクーリング1-4
 6月4日(土) スクーリング1-5
 11日(土) スクーリング1-6
 18日(土) スクーリング1-7
 25日(土) スクーリング1-8